

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

指定文化財(建造物)

こんこうきょうとしやひがしとう・ちゅうおうとう・にしとう

金光教徒社東棟・中央棟・西棟

新高総早倉矢井
見梁社島敷掛原
市市市町市町市

浅口市
里笠
庄岡
町市



場所

浅口市金光町大谷



時代

大正~昭和時代



指定年月日

平成29(2017)年
10月27日



所有

金光教



見学

見学可



この建造物について

浅口市金光町大谷地区は、金光教の門前町として発展し、数多くの近代建築物を見ることができます。金光教徒社は、金光町大谷地区の金光教本部前に面しています。建築順は、西棟~中央棟の順に建てられました。

西棟は、大正5(1916)年建設で、金光教徒新聞社の社屋として建てられました。一時期は、図書館として利用されていました。木造二階建、寄棟造、スレート葺です。中央部と西側下見、軒を板張りのデザインです。

東棟は、大正10(1921)年建設で、木造二階建、寄棟造、スレート葺、切石積基礎に外壁下見張です。中央に入口を配する左右対称の外観が特徴であり、軒線中央部を僅かに切り上げ、洋風意匠の事務所建築です。

中央棟は、昭和2(1927)年建設で、木造二階建、寄棟造、スレート葺です。外壁は、モルタルを塗装して石積に見せる特異な外観です。

当文化財は、西洋建築様式をよく継承しながら、美しい外観をもった貴重な建築物です。